

令和4年度 第1回 水窪小・中学校運営合同協議会 会議録

- 1 開催日時 令和4年 5月12日(木) 14時50分から16時00分まで
- 2 開催場所 水窪中学校 ランチルーム
- 3 出席委員 西岡 とき子、守屋 千づる、塩崎 正敏、中 正俊、金田 和代  
田中 裕彦、牧内 真美
- 4 欠席委員 三輪 嘉彦、山本 功、丹羽 一仁、守屋 貞慶、平出 寛子  
平澤 文江
- 5 学 校 中村 則和(小校長)、山下 拓(中校長)、  
新 英樹(小教頭)、太田 陽三(中教頭)、
- 6 傍聴者 0人
- 7 協議事項
  - (1) 開会あいさつ(会長 塩崎)
  - (2) 運営協議会委員自己紹介
  - (3) 運営協議会委員の委嘱書授与(新規3名(2名欠席)が授与)
  - (4) 議長選出
  - (5) 協議(進行:塩崎会長)
    - ①授業参観の感想
      - ・昔は「覚える」授業 今は応用力を付ける授業。  
音楽・・・歌を歌う、楽器を演奏する→リズムをつくる。  
授業が変わった感じがした。(塩崎会長)
      - ・昔は水窪中も1学年6クラス 人数が多かった。  
人数が減って寂しい。  
人数が少ないからこそ、細やかな授業ができる。先生とのコミュニケーションもとれる。みんなが授業に参加できる。(中副会長)
      - ・先生と生徒との関係が良好。生徒たち私語なく授業に集中。  
全員が自分の意見を言える。(守屋委員)
      - ・昔は水窪中300人ぐらいいた。人数が少なすぎて、先生の指導が大変。  
4人の授業も30人の授業もメリット・デメリットはあるが、大事な  
のは水窪ならではの子供を育てること。(西岡委員)
      - ・1クラス40人だった。先生と生徒の対話ができている。昔は、先生が  
ひたすら話していた。(田中委員)

- ② 水窪小学校・中学校の経営方針について（水窪小中学校各校長より）
- ・『自分らしさが輝く児童・生徒』の育成を小中で教育目標に掲げる。
  - ・幼稚園との連携を含め、12年間を見通した連携・計画とする。

※小学校・中学校の経営方針について委員全員から承認

- ③ 本年度のコミュニティ・スクールの進め方について（水窪小新教頭）
- ・コミュニティ・スクールとは
  - ・コミュニティ・スクールの目的、機能
  - ・学校職員（担任）の協議会参加により生の声を聞く場にしていきたい。

- ④ 学校経営方針の具現化及び課題改善のための取り組みについて  
（水窪小新教頭・水窪中太田教頭）
- ・じゃがた植え、たけのこ掘り、しいたけ菌打ち、田植え、水窪探検ハイク等、地域の方の力を借りて行う活動が順調にスタート。（小学校）
  - ・1年ディスカバー水窪実施、6月にはSkill-up&森林講座。（中学校）
  - ・CSコーディネーターと連携して円滑な活動をしていく。

- ⑤ 夢いくやらまいか事業に対する意見書について（水窪小新教頭）

- ・与えられた予算を有効に活用してほしい。（塩崎会長）

(6) その他

- ◆ コーディネーターより
- ・昨年度の5、6年生釜炊き体験のビデオ視聴

(7) 閉会のあいさつ(中副会長)